

地域の縁がわ名

みんなの蔵 (いしはら)

団体名 代表者名	みんなの蔵 (いしはら) 菅野 武人	所在地	熊本県五ヶ瀬町 1193
問い合わせ先	TEL: 0968-78-1854 FAX: 同上	HP アドレス	
開設日時等	☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日 毎週 9時00分～16時00分 (その他:)	第 曜日 毎月 時 分～ 時 分 (その他:)	
主な利用者 (実績)	☒ 子ども (乳幼児・ ☒ 小中学生・高校生) ☒ 高齢者 認知症の方 ☐ 障がい者 その他 (具体的に:)		

活動内容

【うち、5つ星プロジェクトに関する取組み】

- ☒A 見守り活動 ☒D 健康づくり
☒B 配食・会食サービス ☒E 学びの縁がわ
☒C 買い物支援

F 地域ふれあい
ホーム (制度
外の宿泊)

◆具体的な活動内容

別紙計画書のとおり実施

※5つ星プロジェクトに関する取組み

【 】

【活動のきっかけ】

●地域の縁がわからメッセージ●

縁がわを始めた時期は:

縁がわ活動について

縁がわ活動については、整理区分して説明しなければご理解頂けないため、説明を行います。

「行政区毎の地域活動による縁がわ事業」

各行政区毎に「ふれあい地区社協」を設け、・ふれあいサロン・料理教室・健康体操・高齢者安否確認、買い物支援事業・花いっぱい事業・グラウンドゴルフ・ペタンク・公園除草作業・資源ごみ収集などを行っており、その会場の一つとして「みんなの蔵(いしはら)」を共同利用しています。

Q1(1)利用者数については、＝通常利用者の数を記載しております。

(2)スタッフや協力者については、

- ・みんなの蔵会裡運営委員会の参加行政区々長と参加行政区の世話人及び施設を利用して組織活動を行っているグループ員が活動しています。

(3)活動資金の調達方法については、

- ・みんなの蔵の施設管理方法については、利用行政区が各 20,000 円を負担、利益を得る組織には利用時間で利用料を支払ってもらい、不足額は施設所有者の西新町区が負担しています。
- ・ふれあい活動については、各々の行政区で活動をしていることから、他の行政区は把握していないため、西新町区のふれあい活動資金について説明をしております。

① 自治会費からの支援＝平成 25 年度は、年間 95,000 円の支援を受けています。

② 社協、役場等からの支援

- ・平成 25 年度では、町のまちづくり課から地域創生事業として 60,000 円と花いっぱい運動支援金 30,000 円で合計 90,000 円の支援を受けました。
- ・平成 25 年度では、町社会福祉協議会からふれあい地区社協活動 87,000 円(内容は高齢者・ひとり暮らし見守り活動 20,000 円、ふれあいの場づくり活動 27,000 円、外出支援活動 20,000 円、買い物支援及び社協まつり支援活動 20,000 円)の支援を受けています。

③ 会員から会費を集める。

- ・ふれあいサロン及びふれあいバスハイク等で参加される方々から、費用の一部負担金として、200 円～1000 円約 10 回で合計 56,000 円をイベントにあわせ徴収しています。

④ 参加者からの原材料費は＝受け入れていません。

- ・グループで商品を製作販売した利益で賄っている＝行政区では製作していません。

③ ー1 グループでは、会員から会費を集めて活動費用として年間 35,000 円を徴収。

④ ー1 グループで販売商品名(健康布草履及びクラフトバッグ)の製作販売で年間 800,000 円を得て、研修活動や福祉施設の慰問活動を行い、みんなの蔵の施設利用料や小学校での出前講座教材費等に充てています。

Q2(3)地域の縁がわ活動を行ううえで、苦労している課題を解消するために必要なことは。

※資金不足及びスタッフ不足を解消するために、役員会や役員を設けず、世話人会を設けて活動のしやすさを第一義に置き、

べントごとに住民の中から世話役を募れば、拳手参加であることから会議の回数も細かに

平成 25 年度 西新町自治区ふれあい活動記録

月	ふれあい活動	説明
4月	・ 4月6日(土) 区総会 ・ 4月6日(土) 資源ごみ回収 ・ 4月6日(土) 避難訓練 ・ 4月26日(金) ふれあいバスハイク 雲仙 東洋館 22名参加	東洋館送迎
5月	・ 5月17日(金) 18日(土) 19日(日) 3日間 春のフリーマーケット	みんなの蔵
6月	・ 6月1日(土) 資源ごみ回収 ・ 6月1日(土) 避難訓練	
7月	・ 7月27日(土) 28日(日) 長洲祇園祭 7月27日(土) 夜のふれあい西新町区集会	
8月	・ 8月3日(土) 資源ごみ回収 ・ 8月3日(土) 避難訓練 ・ 8月23日(金) 六地藏祭 竹明り、紙灯籠、そうめん流し、ヨーヨー、総踊り	みんなの蔵周囲
9月	・ 9月21日(土) 西新町区敬老会 参加者25名	
10月	・ 10月5日(土) 資源ごみ回収 ・ 10月5日(土) 避難訓練 ・ 10月12日ふれあいバスハイク 植木温泉 荒木観光ホテル 参加者18名 ・ 10月16日(土) 町長を囲む座談会 町10名 区民18名 ・ 10月25日(金) 26日(土) 27日(日) 3日間 秋のフリーマーケット	荒木観光ホテル送迎 みんなの蔵
11月	・ 町文化祭(未来館及び中央公民館) 区民送迎	
12月	・ 12月7日(土) 資源ごみ回収 ・ 12月7日(土) 避難訓練	
1月	・ 1月19日(日) 新春 的ばかい(破魔弓まつり)	四王子神社
2月	・ 2月1日(土) 資源ごみ回収 ・ 2月1日(土) 避難訓練	
3月	・ 3月23日(日) ふれあいサロン	

※木曜日・日曜日の筋力アップ体操を夜8時から9時で、5年間継続して実施中です。

日曜日には、ストレッチの指導員を招いて、実施する予定。

※毎日、朝のラジオ体操を16年間実施中です。 ご参加を！

でき実行しやすいという長所が得られることから、後者を採用しています。

Q3(2)今後、地域縁がわで取組を検討されている内容は

- ① 見守り活動＝ふれあい活動で実施中
- ② 配食・会食サービス＝会食サービスをふれあい活動で実施中
- ③ 買い物支援＝ふれあい活動で買い物ツアーや買い物時の声かけ運動等実施中
- ④ 生涯現役社会を支えるための健康づくり＝介護予防脳トレ教室、健康体操実施中
- ⑤ 学びの縁がわ＝実施なし
- ⑥ 地域ふれあいホーム＝実施なし
- ⑦ その他具体的内容＝実施なし

※みんなの蔵の当初実施計画に小学生を危険ヶ所での遊びから見守るために、学童保育や放課後部活に参加しない児童を対象に「宿題塾」を開催するための準備に入り、講師に地域の教師OBを願い推進しましたが、学童保育を所管する担当課よりクレームが出て挫折しました。

※介護保険事業がスタートした際は、家事介護爬対象外であったことから、介護対象者の方も予備軍の方も地域の支援がなければ生活できないと判断し、家事介護支援を計画しましたが、介護予防事業として行政で施設に委託しヘルパー派遣を行ったため、地域活動としては支援できませんでした。

ただ、保険事業で予算がなくなり委託しなくなれば誰が支援に行くのでしょうか、縁がわ事業として地域で支援するから生活できるのではないかと思います、委託する行政や受託する介護・福祉施設やシルバー人材センター等との調整ができず、予算が取れなくなれば「住み慣れた地域で・・・」の言葉で地域の縁がわに振るのは納得できません。

地域活動をしていて「住み慣れた地域で・・・」を直接聞いたことがありません、最後は介護施設か病院で最期を迎えられます、これが現実です。

Q4地域の縁がわについて、ご意見

地域共生くまもとづくり事業補助金の補助対象率について(お願い)

縁がわ活動をされている方々と研修会等でお会いすれば、福祉法人・医療法人・学校法人等の職員が参加されていて、研修会にも1日時間をもらっての出張参加が大半でわが施設とは別物であり、研修会に参加することに躊躇している現状です。

補助事業についても、各法人は、事業拡張として自主財源を確保できる中への補助であれば補助申請できますが、自力の弱い収入減を持たない縁がわ活動自治体には3分の1の費用が確保できない状態ですので、10割支援の事業をご検討ください。

地域の活力やふれあい事業を多くやりたいという活力だけは持っていますが、活動資金を地域の高齢者に求めるには、限界があるように思います、費用がいるからイベント参加を少なくするようなお年寄りが出ないうちに何らかの方法を探す必要があります。